



かがみっこだより

第 1 号

令和7年5月14日（水）

発行：鏡原幼稚園

教育目標： **〇元気な子 〇やさしい子 〇よく考える子 〇ふるさとを愛す子**

入園してから1ヶ月が経ちました。子ども達も園生活の仕方や園でのきまりが分かり、お友達の名前も覚えて、自ら好きな遊びに取り組む姿が見られるようになってきました。また、お片付け時間や当番活動も覚え、自分たちで声を掛け合い、グループで協力して頑張る姿も見られます。

昨年度の取り組みの課題等も踏まえ、今年度は以下の取り組みに重点を置きながら、教育目標に向かって保育に取り組んで行きたいと思います。引き続きご家庭でのご協力もよろしくお願いいたします。

協同して遊ぶ力の育成

- ① 子ども達が様々な運動遊びにチャレンジしたり、意欲的に取り組んだりしながら、充実感を味わえるような環境作りに取り組みます。
- ② 一人一人が安心して過ごせるような環境作り（場や時間の保障）を心がけ、園生活に主体的にかかわりながら、友達とのつながりが感じられるような援助をしていきます。
- ③ 自分の思いや考えを言葉にして伝えたり、友達の思いや考えを聞いたり受け止めたり出来るように援助していきます。
- ④ 人の話を最後までしっかり聞けるよう、場の設定をしたり、話を聞く機会のある活動などを計画し、取り組みます。

生活リズムの確立

- ① 家庭と連携し、生活リズムチェックを行い、早寝・早起き・朝ご飯の基本的な生活リズムが整えられるよう取り組みます。
- ② 自ら進んで挨拶が出来よう、場に応じた挨拶の指導・実践をし、習慣化を図っていきます。
- ③ 栽培活動を通し、野菜の生長等に気付かせたり、いろいろな食材に興味関心を持たせ、楽しんで食事が出来るよう取り組みます。
- ④ 持ち物の整理整頓、履き物を揃える、使った物を最後まで片付けられるなど、片付けしやすい環境作りを工夫し、それらが身に付くよう組み立てていきます。

幼稚園での「学力向上」ってな～に??

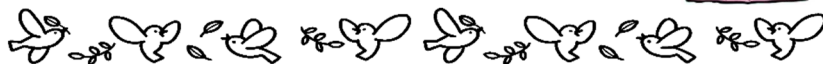


幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期であり、その時期にどのような経験をしたかで、その後の生き方に大きな影響を与えられています。幼稚園では、基本的な生活習慣を軸に、学力の基板となる「生きる力」を育むため、遊びを通した総合的な体験活動を行っていきます。そして、幼児期に総合的に育まれた資質・能力や子ども達の成長を小学校一年生の学びにつながることを「学力向上」となると考えています。

はやね・はやおき・あさごはん

円滑な幼小接続にむけて

- 〇9時までに寝よう
- 〇朝6時半までに起きよう
- 〇朝ご飯は毎日食べよう



「自分のことは自分でできる子」を育てるために
ご家庭でできること

あいさつや返事できるかな

整理整頓したり
大事に使う自分の気持ちを話す
相手の話を聞く自分でトイレの
始末ができる履き物はきちんと
揃える時間を意識して
生活する

体験の中で子どもを鍛えよう